

3-4. 数字で見る成果

大阪スタートアップエコシステム・コンソーシアムの目標

KPIの項目	大阪の目標	数値	達成状況 (令和4年3月時点)
スタートアップの創出	◎スタートアップの設立件数 ◎うち 大学発スタートアップの設立件数	300社 100社	163社 69社
スタートアップの成長	◎ユニコーン輩出件数 ◎5億円以上調達スタートアップ件数	3社 75社以上 ←当初50社	0社 73社
起業家の聖地	◎外国人起業家の誘致件数 ◎スタートアップVISAの活用数	20社 30者 ←当初3者	17社 13者
スタートアップの活躍	◎万博を契機に活躍するスタートアップ輩出件数	50社	—

大阪市イノベーション創出促進事業の目標

コンソーシアムの目標達成のため、
大阪市事業として次の目標を設定

目標	数値	達成状況 (令和4年3月末時点)
新たなプロジェクトの創出・推進支援件数	400件以上 (令和3～7年度)	80件
スタートアップ等における資金調達額	80億円以上 (令和3～7年度)	83億円

※令和2年度以前に支援した企業が新たに資金調達した額を含む。

3-5. 主な成果事例の紹介（注目スタートアップ①）

Rehabilitation3.0

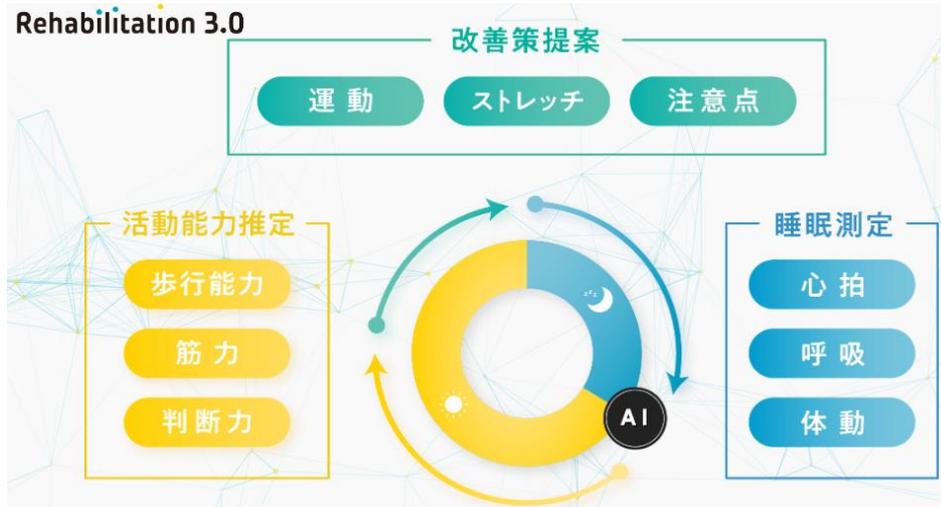
サービス内容

睡眠情報から、AIが運動能力、認知能力など20項目を7段階評価するシステム「SAA」を開発。医療・介護機関におけるICT課題を分析し、現場での業務効率の向上を目指す。

大阪産業局の関わり、成果等

- ・内閣府の拠点都市支援事業（海外アクセラレーションプログラム）に採択、参加
- ・大阪コンソーシアムとして伴走支援
- ・OIH「OSAP」11期プログラム参加

拠点都市への支援メニュー活用



プラス株式会社

サービス内容

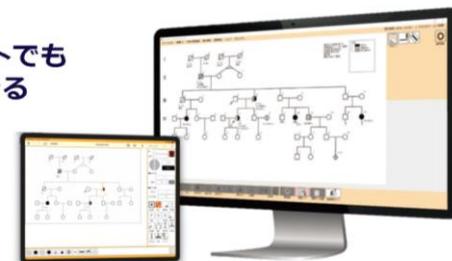
「医療用家系図システム」の製品化を行っており、血縁者の病気や体の疾患情報を家系図に落とし込むことで、早期発見や早期治療を促し、病気を発症するリスクを下げることが可能。医療・介護の費用削減、健康寿命の延伸及びDX化による医療現場の負担軽減を目指している。

大阪産業局の関わり、成果等

- ・うめきたピッチ登壇。登壇後、VC・大手事業会社との面談実施。
- ・アストラゼネカ社のヘルスケアオープンイノベーションプラットフォームへ参画するよう支援。
- ・スターターズピッチAdvance登壇。登壇後、VC面談実施。

大学発スタートアップ

ON ALL DEVICES
PCでもタブレットでも
家系図が作成できる



3-5. 主な成果事例の紹介（注目スタートアップ②）

株式会社フツパー

サービス内容

工場での目視検査自動化により効率化を実現する「画像認識エッジAI」サービスを展開。製造現場の人手不足解消、日本を支える中小企業のDX促進を目指している。

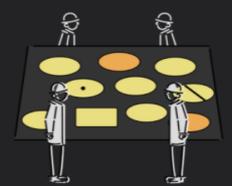
大阪産業局の関わり、成果等

- ・TEQS 5Gビジネスアイデアコンテスト 5G X Impact発表会登壇
- ・OIHうめきたピッチへ登壇
- ・ATCにて「5G活用による広告配信機能を搭載した自動運搬ロボットの機能検証」実施
- ・OIHウェブサイト スタートアップ紹介記事「スタートアップで働く人」取材・掲載。その他、大阪産業局を通じた企業マッチング等を実施。

OIHのプログラム活用

Before

- ✓ 田舎の工場で人が集まらない
- ✓ 不良の種類が複数あるため、センサでは見ることができない



After

- ✓ 人が集まらない分をAIで補填し、2人分の工数を削減
- ✓ 全ての種類の不良を見えさせることが可能



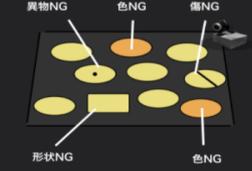
How to

- ✓ 対象物がラインをバラバラに流れるため、画像全体を見えさせるのではなく、物体検出によって対象物を認識

それぞれの物体を見えさせる



対象物を認識し、不良をはしく



PIAZZA株式会社

サービス内容

地域SNSアプリ「ピアッツァ」は、近所のイベントや暮らしの情報交換、使わなくなったモノのやり取り等を通じて、人と人を「ありがとう」でつながる街のオンライン「広場」。デジタルとリアルを繋ぎ、地域の繋がりを促進する街づくりをサポートする。

大阪産業局の関わり、成果等

- ・OIH主催「うめきたピッチ」への登壇をサポート。
- ・大阪市、Osaka Metro、京阪、南海、JR西日本、阪急、阪神と連携開始
- ・シリーズB資金調達（金額非公開）

OIHのプログラムを活用



PIAZZA

おしえて

ご近所イベント

街の求人

不用品の譲り合

紅葉写真自慢!

3-5. 主な成果事例の紹介（OIHパートナー）

令和4年度に新たにOIHパートナーとして登録された事業者（主な事例）

概要

ライトアップベンチャーズ

2022年に設立された、独立系VC。関西のスタートアップに注目し、シード期を対象に、世界に活躍するスタートアップへの投資を行っていく。

OIHとの関わり

OIHパートナー会員参画をきっかけに、OIHVCキャピタリストネットワークの場への参加や、若手の起業家へのメンタリングに積極的にご協力頂いている。

概要

だいしん総合研究所（大阪信用金庫）

だいしん創業支援ファンド1・2号や、おおさか社会課題解決2号ファンド等を設立し、創業期の企業支援や、社会課題解決に取り組む企業支援を行う。

OIHとの関わり

学生起業家の支援として、11月に「第1回学生ビジネスプランコンテスト O-BUCs（オブックス）」をOIH共催で開催予定。書類選考通過者には、プレゼンテーションのブラッシュアップをOIHで実施することで、連携を図る。



概要

コロンビア大使館通商部

中南米のゲートウェイであるコロンビアとOIHとのネットワーク形成を、コロンビア大使館と開始。

OIHとの関わり

4月に「Colombian & Japanese Startup Trend and Life Science Pitch Showcase」のオンラインイベントを開催。革新的な技術やサービスをもつ日本・コロンビア双方のスタートアップが登壇するとともに、中南米の最新スタートアップ情報や近年の技術動向の発信を行う。



PROCOLOMBIA

輸出 観光 投資 ブランディング戦略



El futuro es de todos

Cancillería de Colombia

3-6. 産学官連携 (① グローバル拠点都市 (関西全体) の取組み)

各省庁による支援メニューを最大限に活用し、起業や人材育成、事業推進の環境を整備

関西イノベーションイニシアティブ (KSII)



- ・ 関西地域の産学官金72機関で構成されるプラットフォーム。
- ・ 参画する26の大学・高専によるネットワークを形成し、産学融合の研究開発・事業創出を加速化させる。
- ・ **経済産業省の「産学融合先導モデル拠点創出プログラム」(令和2～6年度)** を活用し、大学と産業界をつなぐイノベーター人材の育成、大学シーズと産業界の市場ニーズのマッチングによる事業創出、大学シーズを起点とした研究開発プロジェクトの推進に取り組む。

イベントや
起業家教育プログラム
で連携

京阪神スタートアップ・アカデミア・コアリション (KSAC)



- ・ 関西地域の22の大学を含む産学官金56機関で構成されるプラットフォーム。
- ・ 大学シーズの実用化や人材育成を強力に支援し、大学発のスタートアップが持続的に創出される環境の構築をめざす。
- ・ **文部科学省の「社会還元加速プログラム (SCORE)」(令和3年度)** および **「大学発新産業創出プログラム (START)」(令和3～7年度※最長で)** を活用。
- ・ 起業活動支援 (GAPファンド)、起業家教育の指導・支援人材の育成、起業環境の整備 (共用試作機器等)、地域のエコシステム形成に取り組む。

バイオコミュニティ関西 (BiocK)



- ・ 関西地域の産学官によるバイオ分野のコミュニティ。
- ・ 内閣府の「バイオ戦略」策定を受け、関西を拠点にバイオ分野におけるエコシステムを構築し、グローバルバイオコミュニティの形成をめざす。
- ・ イノベーションの促進、ネットワーク形成促進、国内外への情報発信に取り組む。

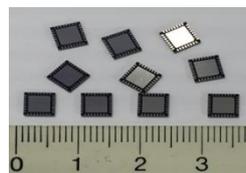
3-6. 産学官連携（② 大学の技術シーズの事業化支援）

大阪市イノベーション創出支援補助金

- 【目的】
- 大学の持つ研究・技術シーズをもとにした産学連携の研究開発に係る費用の一部を補助
 - 実用化に向けた取組みを推進し、もって本市の経済活性化及びイノベーション創出を図る

- 【概要】
- 補助対象は**国内の大学**
 - **大阪市内に事業所を有する**民間企業又は個人との連携事業（※特例あり）
 - **補助率：2分の1（上限額200万円）**

- 【成果】
- **R3年度までに99件、22大学に交付（うち15件が実用化済）**



(株)SIRC

- (株)SIRC**（大阪市立大学発ベンチャー）
- 1辺約5mmという超小型電力センサの開発



あっと株式会社

- あっと株式会社**（大阪大学発ベンチャー）
- 指先を傷つけない毛細血管観察画像観察装置の開発

- (株)mediVR**（大阪大学発ベンチャー）
- VR技術を用いたリハビリ機器を開発、販売



(株)mediVR

4. 前回評議会における主なご意見について

【スタートアップの現状把握について】

- 産学官連携の取り組みをデータベース化した資料は、スタートアップを支援する側にとって有用な資料となる。
- 関西に進出しているVC、進出の意向があるVC等をデータベース化するとともに、VCのコミュニティ化を図ることによって、スタートアップとVCのマッチング精度が向上させることができるのではないか。
- 大阪のスタートアップ・エコシステムにはどのステージにどのようなスタートアップが存在しているのか、海外のVC等が把握できるようデータベースの充実を図るべき。

【経営人材の発掘・マッチングについて】

- 技術が素晴らしくても、それをビジネスモデル化できる経営者が関西には少ない。
- 人材のプラットフォーム構築やネットワーク化を進めていくことによって、関西のスタートアップ・エコシステムを構築することができる。
- 欧州では、アイデアはあるがビジネス化が困難な大学のエンジニアに対して、共同創業者を探すアクセラレーションプログラムを用意している。大阪においても当該枠組みで支援が出来れば良い。

【海外との交流プログラムの実施について】

- 海外の政府系機関と連携を強化するということであれば、在阪の起業意欲のある学生に対してメリットのある交流プログラムを実施できるのではないか。

【中小企業とのマッチング】

- 大阪は中小企業が数多く存在するが、中小企業においてもスタートアップと組むことによって今までなしえなかったことが実現でき、ひいては大阪全体がイノベーション化出来るのではないか。